

### 1. 本授業科目の基本情報

|          |               |      |             |
|----------|---------------|------|-------------|
| 科目名（コード） | 通訳演習Ⅲ         |      | （ TCR208 ）  |
| 講義名（コード） | TCR_通訳演習Ⅲ_B   |      | （ TCR208B ） |
| 対象学科     | 国際コミュニケーション学科 | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース    | 英語ホスピタリティコース  | 単位数  | 4           |
| 授業担当者    | 浅沼 渉          | 時間数  | 60          |
| 成績評価教員   | 浅沼 渉          | 講義期間 | 春学期         |
| 実務者教員    |               | 履修区分 | 選択必修        |
| 実務者教員特記欄 |               | 授業形態 |             |

### 2. 本授業科目の概要

|           |                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 到達目標・目的   | 国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。 |
| 全体の内容と概要  | N2の漢字と語彙を学ぶ。漢字については1年生で習ったことを復習しながら、新出漢字や語彙を増やす。就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。          |
| 授業時間外の学修  | 予習：漢字は事前に3回ずつ書いて意味を確認しておくこと。<br>復習：授業で学んだ漢字の読みと語彙を復習しておくこと。                                |
| 履修上の注意事項等 | 配布したプリントは各自ファイルしておくこと。                                                                     |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                  |                         |                                                 |
|--------|------------------|-------------------------|-------------------------------------------------|
| 評価前提条件 |                  |                         |                                                 |
| 評価基準   | 知識（期末試験点）<br>60% | 自己管理能力（出席点）<br>30%      | 協調性・主体性・表現力（平常点）                                |
| 評価方法   | 期末試験の点数          | 出席率X 0.3<br>（小数点以下切り上げ） | 授業中の活動評価点<br>（5点を基準に加点・減点）                      |
| 成績評価基準 | 評価               | 評価基準                    | 評価内容                                            |
|        | S                | 90～100点                 | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                | 80～89点                  | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                | 70～79点                  | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                | 60～69点                  | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                | 59点以下                   | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
|        | F                | 評価不能                    | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。                   |

**4-1. 本授業科目の授業計画 (火曜 1 時間目分)**

| 回  | 到達目標                   | 授業内容                                        |
|----|------------------------|---------------------------------------------|
| 1  | 生活に関する漢字を使いこなすことができる   | 『漢字マスターN2』第1章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習        |
| 2  | 町に関する漢字を使いこなすことができる    | 『漢字マスターN2』第1章テスト 第2章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 3  | 文化に関する漢字を使いこなすことができる   | 『漢字マスターN2』第2章テスト 第3章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 4  | 健康に関する漢字を使いこなすことができる   | 『漢字マスターN2』第3章テスト 第4章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 5  | 仕事に関する漢字を使いこなすことができる   | 『漢字マスターN2』第4章テスト 第5章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 6  | 会社に関する漢字を使いこなすことができる   | 『漢字マスターN2』第5章テスト 第6章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 7  | 復習                     | 表現の復習 (JLPTの演習を行う場合があります)                   |
| 8  | 復習                     | 表現の復習 (JLPTの演習を行う場合があります)                   |
| 9  | 復習                     | 表現の復習 (JLPTの演習を行う場合があります)                   |
| 10 | 復習                     | 表現の復習 (JLPTの演習を行う場合があります)                   |
| 11 | ドラマに関する漢字を使いこなすことができる  | 『漢字マスターN2』第7章テスト 第8章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 12 | 人間関係に関する漢字を使いこなすことができる | 『漢字マスターN2』第8章テスト 第9章<br>『新完全マスター語彙N2』第1章の復習 |
| 13 |                        | 前期のまとめ                                      |
| 14 | 期末試験                   | 期末試験                                        |
| 15 | 期末試験解説                 | 期末試験解説<br>前期振り返り                            |

## 4-2. 本授業科目の授業計画 (木曜3時間目分)

| 回  | 到達目標               | 授業内容                                       |
|----|--------------------|--------------------------------------------|
| 1  | あいさつや紹介に関する表現ができる  | あいさつや紹介に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする  |
| 2  | 助動詞、時制の表現ができる      | 助動詞、時制の表現にまつわる短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする    |
| 3  | 授受、語法、修飾の表現ができる    | 授受、語法、修飾の表現にまつわる短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする  |
| 4  | 使役、受身の表現ができる       | 使役、受身の表現にまつわる短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする     |
| 5  | 交通・道案内に関する表現ができる   | 交通・道案内に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする   |
| 6  | 電話・メールに関する表現ができる   | 電話・メールに関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする   |
| 7  | 飲食に関する表現ができる       | 飲食に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする       |
| 8  | 宿泊に関する表現ができる       | 宿泊に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする       |
| 9  | 就活に関する表現ができる       | 就活に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする       |
| 10 | 買い物に関する表現ができる      | 買い物に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする      |
| 11 | クレーム・お詫びに関する表現ができる | クレーム・お詫びに関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする |
| 12 | 病気や怪我に関する表現ができる    | 病気や怪我に関する表現を含む短文や短い会話を日本語は英語に、英語は日本語にする    |
| 13 | プレビュー              |                                            |
| 14 | 期末試験               |                                            |
| 15 | レビュー               |                                            |

## 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|          |                                              |
|----------|----------------------------------------------|
| 教科書      | 『新完全マスター語彙N2』 『漢字マスターN2』                     |
| 参考文献・資料等 | どんどん使える！日本語文型トレーニング 中級 / 凡人社<br>講師作成の教材、プリント |
| 備考       | 授業の震度は習熟度に合わせて変更することがあります。                   |